

六月定例議会

《市街化区域内農地への支援策は》

無農薬栽培や後継者の育成など

竹内清海議員(緑風会第1)

【問】市街化区域内には、まだ多くの農地がある。その中には後継者等の問題で生産緑地とせず、高い固定資産税を納めながら野菜や梨を生産している農家もある。

近隣の松戸市や船橋市ではこうした農家に様々な支援をしているが、本市の考えと支援策について伺う。

【答】市街化区域内の農地は約208ha、そのうち生産緑地は111.2haある。本市では市街化区域及び市街化調整区域内の農地を守ると同時に、持続的農業を推進する支援策として、減農薬栽培、農業後継者を育成するための支援、農産物直売所マップの作成、農薬飛散防止カーテン設置補助などを行っている。

《外環道路用地の分断対策は》

長期放置は問題事業促進を

【問】外環道路用地取得率も、千葉区間で83%まで進んできた。そこで、先行的にモデル道路整備も本年度より始まった。また、買収率が高くなってきた事により以前の街並みが大きく変わってしまった。

そこで、既に緑のフェンスにより分断された学区、自治会、商店会等の対応と対策について市の考えを伺う。

【答】事業が進捗する中での地域分断、学区・自治会についての対策は、整備方針の安全に渡れる横断施設や地域住民のコミュニケーション空間として活用できる片側16mの環境保全空間、蓋掛け上部利用等計画している。抵触する商店会に対し振興策として、企業診断士に助言をいただく等対策は行っている。外環用地の長期間放置は問題であり、引き続き事業の促進を働きかけていきたい。

《その他一般質問》

○市街化調整区域の休耕地の現状と対策について

○待機児童の現在の状況と今後の予測について

○保育園入所条件の決定方法及び保育料の決め方について